



平塚ロータリークラブ 週報

Hiratsuka R.C. Weekly



BE THE INSPIRATION

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

会長：杉山 昌行 副会長：鳥山 優子 幹事：木村 義広 会報委員長：青山 紀美代

例会日 毎週木曜日 12:15～13:30

会場 ブランドホテル神奈中 2F

事務局 平塚市松風町 2-10 平塚商工会議所内

連絡先 0463-23-5955 (事務局)

2018年11月15日 第 3180 回 週報第 3180 号

本日 11月15日	会員数 59名	対象者 56名	出席者 42(40)名	出席率 73.68%			
前々回 11月 1日	会員数 59名	対象者 57名	出席者 44(43)名	出席率 75.86%	MUP 1名	計 45名	修正率 77.59%

本日の卓話者ご紹介

小説家 宮原昭夫様



科大学へ進むとした動機でした。

しかし、半年ばかり受験勉強を続ける内に、私は突然、それがいやでいやで堪らなくなり、いきなり志望を文学部のロシア文学科へと変更してしまったのです。いきなり「よし、野垂れ死にしてやろう」と思いきったのです。文学部のロシア文学科を選んだのは、それがいちばん野垂れ死にし易そうな進路だったからです。

私とその時いきなり実世界からドロップアウトしようとしたのは、今思うと、二つの原風景が関わっているような気がします。それは、一つは1945年5月29日の、米軍機の横浜大空襲です。当時百万人の大都会と謳われた横浜市が、私の目の前で僅か半日で消滅し、見渡す限り空っぽの焼け跡になりました。もう一つは、私が戦後結核を発病し、四年間一歩も家の外に出してもらえず、やっと1953年に初めて外出を許された折りに見た家の外の世界です。そこにはもう焼け跡は全く残っておらず、見渡す限り新しい家々の波が続いていました。この二つの世界の落差が、その後進路選択の折、私が現実世界から突然「脱落」した原因になっているような気がします。

卓話

「宮原昭夫、小説家への道」

小説家 宮原昭夫

人が、実在する物を作る「実業」の世界から、小説のような虚をつくりだす「虚業」の世界へと移り住む過程には、大きく分けて二つあると思います。一つは、現実世界での自分の実績の積み重ねの延長線の上に才能を開花させる、いわば実業からの「浮上型」です。もう一つのタイプは、実業から何かしらの理由で虚業の世界へとドロップアウトする「脱落型」です。この二つのタイプのうち、優れた作家たちの多くは前者で、川口則弘と言う人の説によると、出版社の編集者あがり、或いは新聞記者あがりの方々がそれに当たるようです。それに学者あがり、教師あがりなどもこの中に含まれるでしょう。

一寸スライドしますが、医者、僧侶、放送関係者なども、人間を相手にして言葉を使う、という意味でこれに近いかも知れません。主婦あがりの作家もそうかも知れません。浮上型と脱落型の中間は、そのどっちに転ぶか判らないうちに作家になってしまったタイプ、つまり学生時代に作家デビューしてしまっただけのタイプです。

翻って、自分の場合はと考えると、私は始め実世界で生きていくつもりでした。高校時代、進路決定の頃、私は薬科大学に進学するつもりでした。それは偏に野垂れ死にしたいからでした。薬剤師の免許さえあれば野垂れ死にしないで済むのではないかと、思ったのが、薬



宮原様、桐本様と杉山会長

卓話者ご紹介

宮原昭夫 (みやはら あきお) 様

神奈川県横浜市生まれ。中学3年から神奈川県立横浜翠嵐高等学校にかけての同期に青木雨彦と生島治郎がいた。(ただし宮原は高校在学中に胸を患って数年間休業している)。早稲田大学第一文学部露文科卒業。同人誌「木靴」に参加し、太宰治の門弟として知られる小山清に指示した。1963年、「ごったがえしの時点」を出版。1966年、「石のニフ達」で文学界新人賞を受賞して文壇デビューし、第56回芥川賞候補に挙がる。以後「やわらかい凶器」「待っている時間」でも同賞候補に挙がり、1972年、「誰

かが触った」で第67回芥川賞受賞を果たす。初期の作品は、少女たちの小悪魔的な魅力を描いたものが多かったが、「誰かが触った」は障害児を描いた異質なものである。その後、船を舞台とした海洋ユーモア小説や、若い女たちを描いた長編を書いている。半世紀にわたり、100冊近く執筆し、ドラマ化したものも沢山ある。テレビドラマ「モナリザたちの冒険」は宮原原作「女たちのまつり」、「砂の密室」は宮原原作「若葉照る」からとなる。横濱文学学校の講師として、村田沙耶香などを育てた。

近年の書物

- ・『ゴジラ丸船長浮気めぐり』集英社 1981 (のち光文社文庫)
- ・『魍魎魍魎』河出書房新社 1982
- ・『生きている海幸彦たち』日本交通公社出版事業局 1983
- ・『土と火の巫女』福武書店 1983
- ・『カーテンコールをもう一度』双柿舎 1985
- ・『女たちのまつり』河出書房新社 1986
- ・『ゴジラ丸船長島めぐり』毎日新聞社 1987
- ・『竜のいる海』毎日新聞社 1989
- ・『陽炎の巫女たち』読売新聞社 1992
- ・『海のドン・キホーテ』徳間書店 1992
- ・『書く人はここで蹟く！作家が明かす小説作法』河出書房新社 2001
- ・『シジフォスの勲章』河出書房新社 2002
- ・『宮原昭夫小説選』宮原昭夫小説選制作委員会 2007

幹事報告

◎2019-20年度青少年交換学生の希望者が1名あり、当クラブより推薦致しました。

11月10日・11日に選考試験があり、その結果次年度台湾派遣の地区候補者に決定しました事をご報告致します。お名前は金子美優(みゆう)さん平塚市在住の高校一年生です。

◎第6回インター・ロータリーアクト委員会が開催されます。

日時:11月17日(土) 13:00~
秋山委員長が出席されます。

◎地区、会員増強事例セミナーが開催されます。

日時:12月4日(火) 開会:15:00~
杉山会長が出席されます。

◎来週、11月22日(木)は企業訪問です。

12:50 NTT平塚支店前集合
13:00 出発
日産自動車(株)座間事業所内「日産ヘリテージコレクション」を見学後、厚木市森の里にあるレストラン「アマンダンヒルズ」で食事会となります。
当日は通常の例会は開催されませんので、ご注意ください。



お誕生祝いの成瀬、関口、三荒会員

委員会報告

・インターアクト委員会 秋山智委員長

11/23(金)インターアクト年次大会、出席者15名です。
ご出席の方は当日8:30平塚学園にご集合下さい。駅からの誘導箇所など打ち合わせ致します。

・職業奉仕委員会 高橋賢二委員長

11/22(木)企業訪問、12:45NTT前集合、13:00出発です。
例会はありません、ご注意下さい。日産自動車座間を見学し、森の里アマンダンヒルズで昼食の行程です。

・長期計画委員会 升水一義委員長

会員満足度調査(CS)アンケートを配布しました。簡単な内容で無記名です、早目にご記入ご返信お願いします。
100%回答ご協力下さい。中小企業診断士が分析し来年2月発表予定です。

・親睦委員会 今村佳広委員長

クリスマス会で今年も恒例のビンゴをやります。協賛品を募ります。ご協力宜しくお願い致します。

メークアップ (MUP)

1名

豊川忠紀会員

本日のスマイル

20名

ゲスト

1名

横浜文芸の会 芥川賞作家 宮原昭夫様

ビジター

2名

元平塚RC会員 桐本美智子様
地区危機管理委員会副会長宮本清志様
(横須賀南西RC幹事)



お久しぶりの桐本美智子元会員



地区危機管理委員会副委員長の宮本清志様

卓話・行事予定

- 11月22日(木) 企業訪問
- 11月29日(木) 休会

市内例会変更

現在ございません。

